

# 国語総合 \ II(Japanese)

本科	選択・必修	開設時期	単位数	授業形態	担当
一般科目	必修	2年	2	講義	一色誠子(CA) 好村友江(ME,IE)

## 【授業の概要】

一年次の基礎的な学習を踏まえて、柔軟なものの方・考え方ができるように、多くのジャンルの文章や作品を読むことによって発展させていくことを目標とする。

## 【授業の進め方】

授業では、学習の指針となり学習の履歴となる「学習シート」を毎時間使用する。授業では、適宜グループワークを行う。漢字とことばの学習は、テキストを用いて自宅での自主学習を基本とするが、月一回の確認テストを実施する。

【授業の概要】	【授業項目】	【内容】
1回	授業の進め方について 評論 1	授業の進め方について、シラバスを用いて説明する。茂木健一郎「最初のペンギン」その1
2回	評論 1	茂木健一郎「最初のペンギン」その2
3回	評論 1	茂木健一郎「最初のペンギン」その3
4回	小説 1	カフカ「掟の門前」その1
5回	小説 1	カフカ「掟の門前」その2
6回	小説 1	カフカ「掟の門前」その3
7回	小説 1	カフカ「掟の門前」その4 翻訳文学について
8回	中間試験	1回～7回までの単元を範囲とする。
9回	詩歌	中間試験の返却と解説 宮澤賢治とその作品について 宮澤賢治「永訣の朝」その1
10回	詩歌	宮澤賢治「永訣の朝」その2
11回	詩歌	宮澤賢治「永訣の朝」その3
12回	随想	又吉栄喜「小さいものが大きく見える風景」その1
13回	随想	又吉栄喜「小さいものが大きく見える風景」その2
14回	随想	又吉栄喜「小さいものが大きく見える風景」その3
	期末試験	9回～14回までの単元を範囲とする。
15回	解答返却など	前期末試験の返却と解説 夏目漱石について / 夏目漱石「こころ」その1
16回	小説 2	夏目漱石「こころ」その2
17回	小説 2	夏目漱石「こころ」その3
18回	小説 2	夏目漱石「こころ」その4
19回	小説 2	夏目漱石「こころ」その5
20回	評論 2	多木浩二「消費されるスポーツ」その1
21回	評論 2	多木浩二「消費されるスポーツ」その2
22回	評論 2	多木浩二「消費されるスポーツ」その3 (グループワークあり)
23回	中間試験	15回～22回までの単元を範囲とする。
24回	評論 3	中間試験の返却と解説 高階秀爾「日本の美意識」その1

25回	評論 3	高階秀爾「日本の美意識」その2				
26回	評論 3	高階秀爾「日本の美意識」その3				
27回	評論 3	高階秀爾「日本の美意識」その4				
28回	評論 3	日本人の美意識を考える その1（日本の古典芸能にふれる）				
29回	評論 3	日本人の美意識を考える その2（日本の古典芸能から考える／グループワークあり）				
	期末試験	24回～29回までの単元を範囲とする。				
30回	解答返却など	期末試験の返却と解説 一年間の学習のまとめ				
【到達目標】	文章を正しく読むと同時に、考えながら読むことができるようにする。 辞書を積極的に引き、語彙力と表現力を身につける。					
【徳山高専学習・教育目標】	A	【JABEE基準1(1)】				
【評価法】	定期試験80%、漢字とことばの確認テスト10%、課題5%、グループワーク5%で総合評価する。 学年末評価計算式：(前期中間+前期末+後期中間+後期末)÷4(80%) + 漢字とことばの確認テスト(10%) + 課題(5%) + グループワーク(5%)					
【テキスト】	テキスト：現代文1（東京書籍） 副教材：「新総合 図説国語」（東京書籍）、「課題学習ノート」（東京書籍）、「チェック 高校国語の基礎」（京都書房） 図説と漢字のテキストは、1年次のものを引き続き使用する。					
【関連科目】	国語総合I					
【成績欄】	前期中間試験 【 】	前期末試験 【 】	前期成績 【 】	後期中間試験 【 】	後期末試験 【 】	学年末成績 【 】